

MOBILE DREAM

FACTORY

IR REPORT 2012 March.



株式会社エムティーアイ

中間報告書 2012年9月期 2011.10.1~2012.3.31

Column

上席執行役員 古賀 和幸に聞く
「モバイル業界の最先端を
行く開発力とは？」 » P.10

Message&News Highlights 2012 interim

「スマートフォンでの展開に
確かな手応えを感じている」

代表取締役社長 前多 俊宏

» P.01

Focus on Smartphone

スマートフォン向け
有料会員数は大幅に増加

» P.03

Focus on 「music.jp PLAY」

ミュージックスタイルを
変える「music.jp PLAY」

» P.05

Financial Highlights

決算ハイライト » P.07

Corporate /Stock Information
会社情報/株式情報

» P.09

To Expand The Service for Smartphone.

スマートフォン向けサービスの拡大



スマートフォン向けビジネスは軌道に乗ってきた

2011年度の携帯電話端末総出荷台数のうち、スマートフォンの出荷台数は56.6%を占め、2012年度には総出荷台数の68.7%まで拡大するとの予測があります（株式会社MM総研調べ）。携帯電話端

末のスマートフォンへの急速な移行と連動して、携帯コンテンツビジネスにおいても、スマートフォン向けサービスに急速に移行しているといえます。

このような中、当社は他社に先

駆けてスマートフォン向けサービスの拡充に注力し、各カテゴリーにおいて、いち早くスマートフォン向けサービスを提供したことにより、短期間で200万人近い有料会員数にまで拡大できました。加えて当社独自のスマートフォン向け会員認証・決済プラットフォーム

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2012年9月期上期はスマートフォン向けサービスの有料会員数の拡大とサービス機能の拡充に取り組みました。この結果、2012年3月末の同サービスの有料会員数は197万人（2011年9月末比124万人増）まで拡大しました。一方で、フィ

2012年9月期上期 経営成績

売上高	147億00百万円	（前年同期比10.0%減）
営業利益	11億50百万円	（同35.3%減）
経常利益	11億40百万円	（同35.5%減）
四半期純利益	1億76百万円	（同80.8%減）

To Our Shareholders
株主の皆様へ



ーチャーフォン向けサービスがスマートフォンへの移行の影響で減少傾向が続いたことにより、2012年3月末の有料会員数の合計は858万人（2011年9月末比36万人減）となりました。なお、2011年12月末比では1万人減にとどまり、有料会員数は下げ止まっています。

下期も引き続き、スマートフォン向けサービスの有料会員数の拡大に注力することにより、来期以降の業績拡大につなげたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

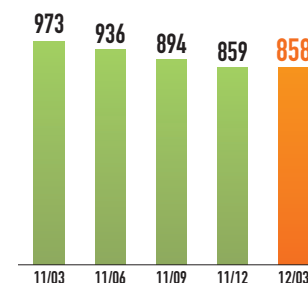
代表取締役社長
前多 俊宏

「スマートフォンでの展開に確かな手応えを感じている」



Topics

有料会員数（合計）
（万人）

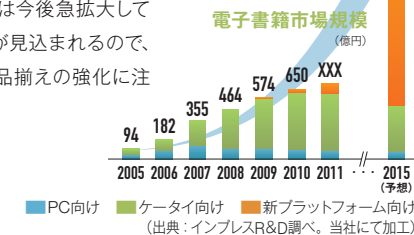


有料会員数、減少傾向に歯止め

2012年9月期第2四半期は、積極的なプロモーション活動によりスマートフォン向けサービスの2012年3月末の有料会員数が197万人（2011年12月末比82万人増）まで急拡大し、全体でも858万人（同1万人減）となり、全体の有料会員数の減少傾向に歯止めがかかりました。

大手出版社からの有力コミック作品の配信許諾を獲得

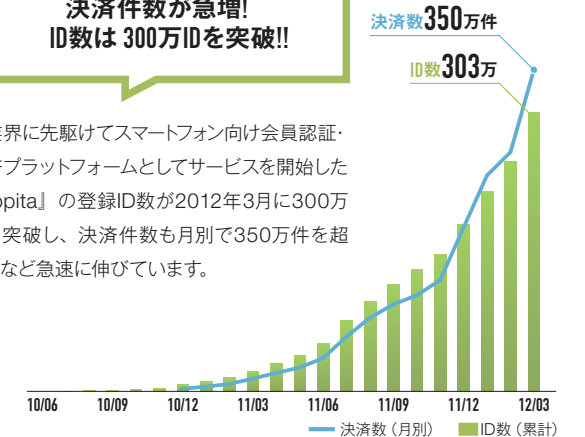
スマートフォン向けコミック配信「comic.jp」において、大手出版社3社（小学館、集英社、講談社）から有力コミック作品の配信許諾を獲得しました。コミック配信市場は今後急拡大していくことが見込まれるので、引き続き品揃えの強化に注力します。



mopita

決済件数が急増！ID数は300万IDを突破！！

業界に先駆けてスマートフォン向け会員認証・決済プラットフォームとしてサービスを開始した『mopita』の登録ID数が2012年3月に300万IDを突破し、決済件数も月別で350万件を超えるなど急速に伸びています。



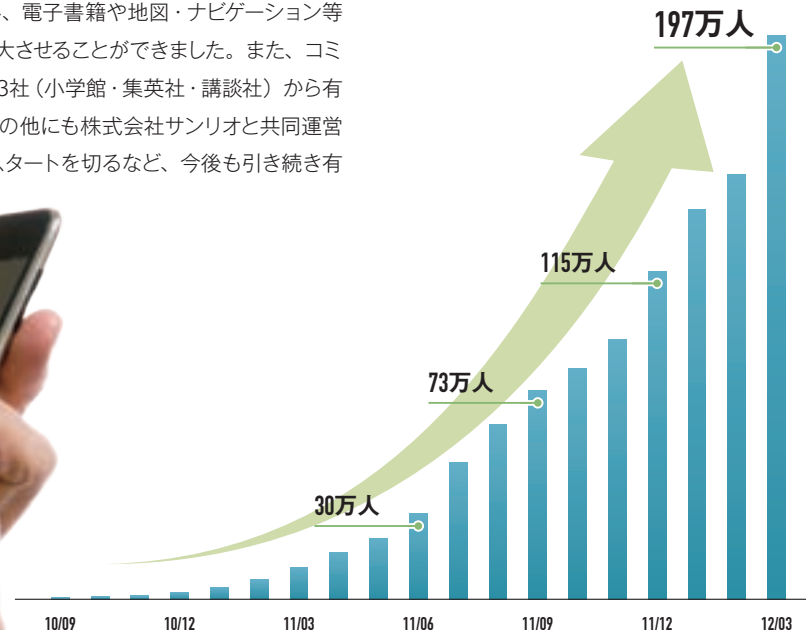
A Jump in The Number of Paying Subscribers.

スマートフォン向け 有料会員数は大幅に増加

スマートフォン有料会員数は197万人に。
各カテゴリーでのサービス充実により、今後も大幅な会員数増加を期待！

主力サービスである音楽配信や健康情報においても順調に有料会員数を伸ばす一方で、スマートフォンの特性を活かし、電子書籍や地図・ナビゲーション等のカテゴリーにおいても有料会員数を拡大させることができました。また、コミック配信「comic.jp」では、大手出版社3社（小学館・集英社・講談社）から有力コミック作品の配信許諾を獲得し、その他にも株式会社サンリオと共同運営を始めた新しいデコメ®サイトも好調なスタートを切るなど、今後も引き続き有料会員数の増加が期待できます。

スマートフォン有料会員数の推移



yomel.jp 月額定額読み放題の
電子書籍サービス

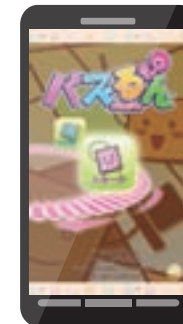
大画面で読みやすい電子書籍

いつでもどこでも好きなだけ、文字の大きさも好きなように変えて読める電子書籍の人気の高まる中、当社が提供している「yomel.jp」は、dメニュー小説カテゴリ1位を獲得するなど、今後も大きな伸びが期待できる市場で優位なポジションを確保しています。



簡単操作 カジュアルゲーム

ナンプレ（数独）やクロスワード、間違い探しにお絵描きロジックまで、29種類の定番ゲームを遊べるAndroid™用パズルアプリ「バズるん」や、音声認識機能を初搭載したAndroid™用女性向け恋愛シミュレーションゲームアプリなど、簡単操作で「手軽に楽しめる」ゲームアプリは好評を博しています。



地図・ナビゲーションアプリ

スマートフォン向け道路渋滞情報アプリ『渋滞ロードMap— 道路交通情報—』と、鉄道&バス運行情報アプリ『バツと見！電車&バス』は、対応エリアが大幅に拡大され、より便利になりました。今後も簡単・最短で目的地へとたどり着けるサービスを拡充していきます。





Innovation of Music.

Focus on 「music.jp PLAY」
ミュージックスタイルを
変える「music.jp PLAY」

「music.jp」では、常に業界に先駆けて、新しい発想・新しい技術を導入し、音楽視聴における利便性を追求してきました。フィーチャーフォンからスマートフォンへ機種変更した際に、フィーチャーフォンで購入した楽曲を新しい端末で利用できないという点がスマートフォン向け音楽配信における大きな課題となっていました。

こうした状況の改善に向け、「music.jp」では、フィーチャーフォンで購入した楽曲をスマートフォンでも聴ける「おあずかりサービス」を開始したほか、自主的にDRM（デジタル著作権管理）システムを実装し、ライセンスを再発行することで、購入楽曲を他の携帯端末やPCに移して聴くことができる環境も整備しています。

これらにより、パートナーであるレコード会社には安心して配信を行う環境を、ユーザーにはより多くの楽曲をお届けすることを可能にしています。さらに、2012年3月には、Androidのスマートフォンやタブレット端末、フィーチャーフォンやPCそれぞれに保存されている楽曲をPCで一括管理し、好きなデバイスに移行して音楽を聴くことができるサービス「music.jp PLAY」の提供も開始しました。

オリジナルJuke Box。



これまでは、携帯音楽配信サービスからダウンロードした楽曲をPCに取り込むことや、フィーチャーフォンからスマートフォンへの移行もできませんでした。『music.jp PLAY』を使えば、ファイル形式や入手経路に関わらず、自分が持っている楽曲すべてをPCに詰め込んで、まとめて管理可能になります。



自分だけのPlay List。



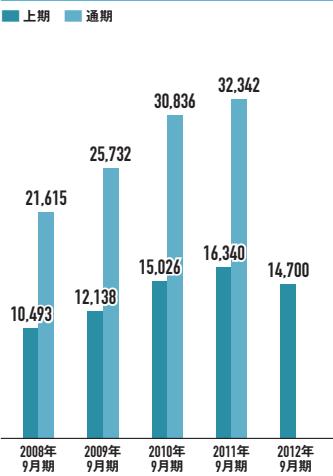
PC、スマートフォン、フィーチャーフォンなど様々なデバイスを同期させることができるので、スマートフォンなどの携帯端末に保存している楽曲も併せて、すべてをPCで一括管理。自分だけのオリジナルPlay Listの作成も簡単にできます。

音楽を持ち歩く。

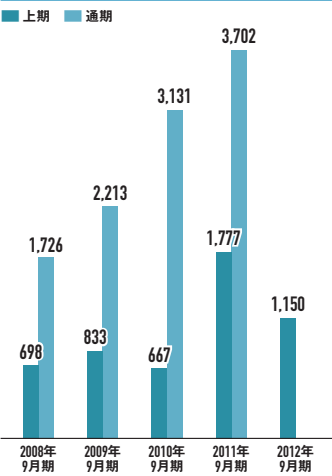


様々なデバイスに取り込んだ楽曲をPCにまとめて保存・管理できるだけでなく、そこから、楽曲を選んで、好きなデバイスに再移行させることも可能。デバイス間を自由に移行できるので、いつでも、どこでも、お気に入りの音楽を楽しめる環境が整います。

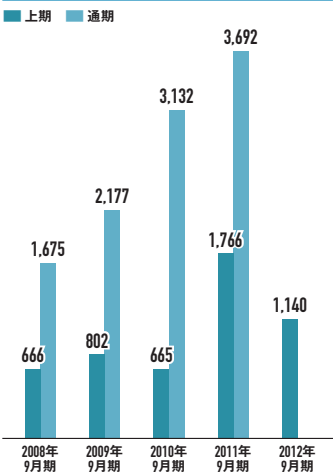
売上高 (単位:百万円)



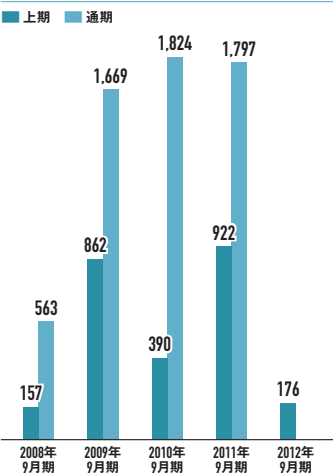
営業利益 (単位:百万円)



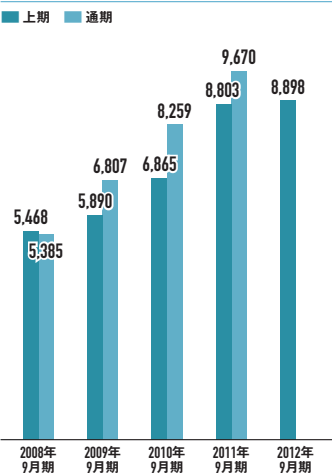
経常利益 (単位:百万円)



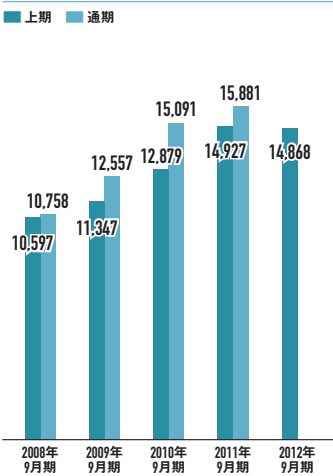
四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



純資産 (単位:百万円)



総資産 (単位:百万円)



(単位:百万円)

連結損益計算書

	当第2四半期累計 2011年10月1日から 2012年3月31日まで	前第2四半期累計 2010年10月1日から 2011年3月31日まで	前会計年度 2010年10月1日から 2011年9月30日まで
売上高 ①	14,700	16,340	32,342
売上原価	3,005	3,991	7,571
売上総利益 ②	11,695	12,348	24,770
販売費及び一般管理費	10,545	10,570	21,067
営業利益 ③	1,150	1,777	3,702
経常利益 ④	1,140	1,766	3,692
特別利益	—	355	246
特別損失	381	325	361
四半期(当期)純利益 ⑤	176	922	1,797

連結貸借対照表

	当第2四半期末 2012年3月31日現在	前第2四半期末 2011年3月31日現在	前会計年度末 2011年9月30日現在
流動資産 ⑥	10,670	11,113	11,470
固定資産	4,197	3,814	4,411
流動負債	5,453	5,521	5,626
固定負債	516	603	584
純資産 ⑦	8,898	8,803	9,670
総資産	14,868	14,927	15,881

連結キャッシュ・フロー計算書

	当第2四半期累計 2011年10月1日から 2012年3月31日まで	前第2四半期累計 2010年10月1日から 2011年3月31日まで	前会計年度 2010年10月1日から 2011年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,796	910	2,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 869	△ 1,086	△ 2,417
財務活動によるキャッシュ・フロー ⑧	△ 1,083	△ 567	△ 619
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	2,945	2,405	3,108

POINT ① 売上高

全体の有料会員数が前年同期と比べ減少したことにより、147億円(前年同期比10.0%減)となりました。

POINT ② 売上総利益

音楽系サービスのダウンロード数の減少と原価率の低い生活情報系サービスの売上構成比が上昇したことにより原価率が20.4%に低下しましたが、減収分を補いきれず、116億95百万円(同5.3%減)となりました。

POINT ③ 営業利益／経常利益

人件費や外注費が増加する一方で、広告宣伝費はフィーチャーフォン向けを費用対効果の面から抑制したことにより販売費及び一般管理費は前年同期と同水準となりましたが、売上総利益が減益であったため、それぞれ1,150百万円(同35.3%減)、1,140百万円(同35.5%減)となりました。

POINT ④ 四半期純利益

のれん減損損失や固定資産除却損等で特別損失として381百万円を計上したことにより、176百万円(同80.8%減)となりました。

POINT ⑤ 流動資産

主に売掛金の減少により前期末に比べ799百万円の減少となりました。

POINT ⑥ 純資産

四半期純利益として176百万円を計上したものの、主に自己株式の取得や配当金の支払いにより前期末に比べ772百万円の減少となりました。

POINT ⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得による支出と配当金の支払いにより1,083百万円の資金流出となりました。

会社概要

商号	株式会社エムティーアイ
設立	1996年8月12日
資本金	2,562百万円
	〒163-1435
本社所在地	東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー35階
従業員数(連結)	710名
URL	http://www.mti.co.jp/

グループ会社の概要

(株)テラモバイル	(株)フィル	(株)メディアーノ
Jibe Mobile(株)	MShift, Inc.	
上海海隆宜通信息技術有限公司		

株式状況

発行可能株式総数	447,600株
発行済株式総数	133,688株
株主総数	5,243名

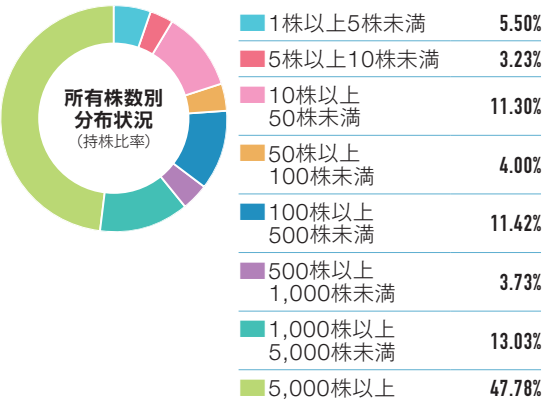
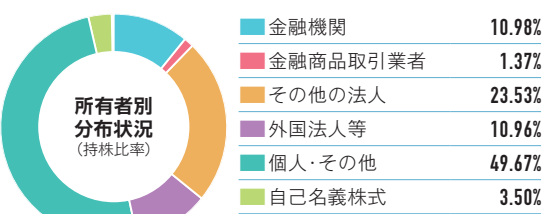
大株主

	持株数(株)	議決権比率(%)
前多 俊宏	29,314	22.72
株式会社ケイ・エム・シー	25,240	19.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,322	7.23
株式会社エムティーアイ	4,681	—
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	2,597	2.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,506	1.94
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカUNT ジェイビーアールディ アイエスジー エフイーー イエシー (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	2,289	1.77
株式会社昭文社	1,680	1.30
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,318	1.02
株式会社バロース	1,216	0.94

役員

代表取締役社長	前多 俊宏	取締役	佐々木隆一
取締役副社長	泉 博史	取締役	小名木正也
取締役副社長	種野 晴夫	常勤監査役	箕浦 勤
専務取締役	高橋 次男	監査役	中村 好伸
常務取締役	大沢 克徳	監査役	崎島 一彦
取締役	清水 義博	監査役	大矢 和子
取締役	松本 博		

株式分布状況



個々人の能力を引き出す 開発環境の大切さ

新しい価値・新しいサービスを創造する優れたコンテンツプロバイダーには、優れた開発者集団が存在する。
利用デバイスが多様化し、より早く、より充実したサービス内容が求められる中、
いち早くアジャイル^(※1)開発にシフトし、新たなサービスをスピーディに生み出し続ける当社の開発力の強みに迫る。

スマートフォンは性能面ではPCに劣るものの、センサーやGPS、タッチ操作といった機能面に優れ、また、どこでも・どんな場面でも使えるユビキタス^(※2)性の高いデバイスです。このスマートフォンの登場により、高い技術力とデザイン力が必要とされるようになってきました。しかも、この業界は変化

が激しく、新しいサービスの構想段階から開発終了までに、あまりにも状況が変わるので、従来のウォーターフォール^(※3)開発の手法が機能しない場面が多発していました。そこで、小さなチームが互いに連携しあいながら、要求仕様の変更などに機敏に対応するアジャイル開発へと開発体制を移行しました。プロジェクトを小分けにし、リスクの高いものから順に着手する。先に大きなリスクを解消すれば費用対効果も高く、業界に先んじて競争優位性を高めることができるからです。また、機能していない技術や失敗を早期に見分けることができ、改善もスピーディに行えます。本体制導入後は、サービス提供を断念する「失敗プロジェクト」が一切なくなりました。実際、ユーザー数が伸びています。「comic.jp」はアジャイル開発で再構築したからこそ、無事、スマートフォンでのサービスをスタートできた

いっても過言ではありません。事業遂行における計画性の担保というメリットはもちろん、知識やノウハウがチームを超えて共有され、各プロジェクト完了後の振り返りの場が増えることで、個々人のスキルが確実にステップアップするという成果も得ることができました。こうした開発スタイルは、全社的な協力がないと成り立ちません。全社移行にあたり、基準を定め、チャレンジさせ、次の方向性を導いた経営判断の迅速さ、そして、判断した後の実行能力の高さという当社の強みが十分に発揮されたケースになったと認識しています。今後、データは蓄積され、何もかもが情報になる時代に入ります。開発部隊の強い企業の価値はより向上することになるでしょう。私はCTOとして、そうした強さを持った開発体制を作り上げることで、さらなる企業価値の向上を実現させていきたいと思っています。

Column

「エムティーアイの強み——開発力」 モバイル業界の最先端を行く開発力

Our Ability to Develop

上席執行役員CTO

古賀 和幸

※1 アジャイル＝ソフトウェア要求仕様などの変化に対して機敏な対応ができ、顧客に価値あるソフトウェアを迅速に提供することを目的とするソフトウェア開発方法論の総称(出典:『IT情報マネジメント用語辞典』)。
※2 ユビキタス＝「何時でも何処でも意識せずに、情報通信技術を利用できること」(出典:『Sanseido Word Wise Web』)
※3 ウォーターフォール＝ソフトウェア開発プロセスの1つで、最も基本的で一般的な開発モデル。プロジェクト全体をいくつかの工程に分解して各工程での成果物(仕様書や設計書などのドキュメント)を明確に定義し、その成果物に基づいて後工程の作業を順次行っていく開発手法(出典:『IT情報マネジメント用語辞典』)。



Picute イベントや友達との思い出の撮影にも大活躍！ 自分流にかわいくデコれる！ カメラアプリ『Picute』登場！

撮影した写真を自由にデコレーションできるほか、オリジナルのデコレーション素材を購入したり、SNSへの投稿に利用することもできます。



女性の暮らしに役立つ「お天気」「美容」「占い」「デコメ®」が1つのアプリに！ 女性向け気象情報アプリ「お天気女子部」

気象情報に加えて「紫外線指数」「お肌の乾燥・潤い指数」などの女性の暮らしに役立つ様々なコンテンツを提供しています。

Information

エムティーアイの最新情報はこちらで入手!!

facebook

<http://www.facebook.com/MTLtd>
<http://www.facebook.com/MTLtd.eng>



当社サービスの最新ニュースをお届けしており、よりタイムリーに当社の情報を入手することができます。是非ご登録ください。

twitter

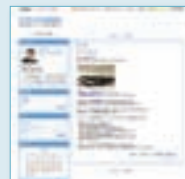
https://twitter.com/#!/mti_official



公式IRブログ

「CFOのつぶやき@初台」

<http://ameblo.jp/matsumoto-mti/>



当社CFOの松本博が当社のIR情報を中心に綴っています。

株主メモ

事業年度	10月1日~翌年9月30日
期末配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	12月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711
上場証券取引所	大阪証券取引所 ジャスダック市場
公告方法	電子公告により行う URL http://www.mti.co.jp/koukoku/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告します。)

【株式に関する手続きについて】

1. 株主さまの住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

また、各種お手続き用紙のご請求につきましては、以下のお電話ならびにインターネットにより24時間受付けておりますので、ご利用ください。

TEL ☎ 0120-244-479
URL <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※ 本誌には、当社の将来に関連する記述があります。この前提および将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。 ※「デコメ®」、「dメニユー」は、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。 ※「Android™」はGoogle Inc.の商標です。



株式会社エムティーアイ

〒163-1435 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
東京オペラシティタワー35階



この報告書は、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。